

## 中期目標（素案）に対する岐阜市公立大学法人評価委員会の意見及び対応

## 【素案への意見及び対応】

通番	意見	対応	
1	<p>・最近、大学と中高の連携強化が盛んに述べられており、中学生のうちから理系に興味を持ってもらい、高校では薬学や創薬へ関心を誘導したり、関心の掘り起こしを行ったりというような取組を各大学が行っている。薬大ではどのように考えているか。</p> <p>・薬大や創薬に対する関心を幼い時期から涵養するための活動について目標に入れなくてよいか。出前講義など、薬大で既に行われている様々な取組みについて位置づける記述がどこかにあってもよいのではないか。</p>	<p>・中高生等に向けた薬学への関心喚起について、入学者受入れに関連付けた意見であることを踏まえ、教育に関する目標の中に以下のとおり項目を追加して記載する。</p>	
		<p><b>【案（今回）】</b>  <u>(5) 入学者受入れを見据えた薬学への関心の喚起</u>  <u>優秀な学生の岐阜薬科大学への受入れを見据え、高等学校や中学校の生徒、教職員等に対して薬学の意義や魅力を伝える活動を行うことを通じて、学習意欲や目的意識の高い入学志願者の増加につなげる。</u></p>	<p><b>【素案（前回）】</b>            ※なし</p>

2	<p>・働き方改革について「業務運営の改善及び効率化に関する目標」のところに加えてはどうか。</p> <p>・働き方改革については、言葉そのものを入れると現状に対して改革することになり、最初の目標としては少し書きにくいかもしれないが、6ページの「業務の効率化・高度化に関する目標」の「不断の点検、見直しを行い、効率的かつ合理的な業務運営を推進する」の部分に、生産性を上げることによって業務意欲を高めたいという趣旨が加わると、いわゆる「働き方改革」を理念的に受け止められるのではないか。</p>	<p>・ダイバーシティの推進にフォーカスして位置づけていた労働環境の整備に関する記載について、全ての教職員の意欲と生産性の向上につながる全般的な対応になるよう、記載を見直す。</p>	
		<p><b>【案（今回）】</b>  (3) 人材の育成及びダイバーシティの推進を含む労働環境の整備  (略)  性別や国籍、障がいの有無にとられない多様な人材の活躍を目指し、ダイバーシティを推進するとともに、<u>全ての教職員の活躍が可能となり業務への意欲及び生産性の向上につながる労働環境の整備及び継続的な改善を行う。</u></p>	<p><b>【素案（前回）】</b>  (3) 人材の育成及びダイバーシティの推進  (略)  性別や国籍、障がいの有無にとられない多様な人材の活躍を目指し、ダイバーシティを推進するとともに、こうした活躍が可能となる労働環境の整備及び継続的な改善を行う。</p>
3	<p>・4ページの「学生への支援に関する目標」に「ハラスメント行為その他の人権侵害行為を防止し」とあり、5ページの「法人運営の強化に関する目標」にも同様の記述がある。強調のような意図があるのであればよいが、「コンプライアンスの強化」辺りで一つにまとめても見やすいのではないか。</p>	<p>・「学生への支援に関する目標」のハラスメント防止に係る記載については、学生を守るためものであることを明確にして引き続き記載することとした上で、体制構築に関しては法人運営の箇所に一括して記載することとする。</p> <p>・法人運営の観点でのハラスメント防止に係る記載については、「弾力的かつ適正な人事制度の構築及び運用」から「コンプライアンスの強化」の箇所へ移動し、法人及びその役職員の責務としての目標であることが明確となる記載に改める。</p>	

	<p>・理解できる書き分けであるので、このような書き方もあるとは思いますが、「弾力的かつ適正な人事制度」の箇所は、やはり評価と、優れた評価がなされた人材を積極的に登用するという点に最も重きを置くべき項目かと思うので、改めてご検討いただきたい。</p>	<p><b>【案（今回）】</b></p> <p>3 学生への支援に関する目標 (略)</p> <p><u>学生がハラスメント行為その他あらゆる人権侵害行為にさらされることのない教育研究環境を確保するとともに、</u>学生自身が人権尊重や法令遵守に対する意識向上を図ることができるよう啓発を行う。</p> <p>(略)</p> <p>(2) 弾力的かつ適正な人事制度の構築及び運用 (略)</p> <p>教員の起業に関わる規程を整備し、教員が地域活性化のために活動できる環境を整えるとともに、当該活動を促進し、支援する。</p>	<p><b>【素案（前回）】</b></p> <p>3 学生への支援に関する目標 (略)</p> <p>全てのハラスメント行為その他の人権侵害行為を防止し、発生後の適正な対応を確保するための体制を構築することを通じ、学生が人権侵害行為にさらされることのない教育研究環境を確保するとともに、学生自身が人権尊重や法令遵守に対する意識向上を図ることができるよう啓発を行う。</p> <p>(略)</p> <p>(2) 弾力的かつ適正な人事制度の構築及び運用 (略)</p> <p>教員の起業に関わる規程を整備し、教員が地域活性化のために活動できる環境を整えるとともに、当該活動を促進し、支援する。</p> <p><u>全てのハラスメント行為その他の人権侵害行為を防止し、発生後の適正な対応を確保するための体制を構築するとともに、人権尊重に対する役員及び教職員の意識向上を図る。</u></p>
--	---	--	---

		<p>(4) コンプライアンスの強化</p> <p>役員及び教職員の法令遵守をはじめとするコンプライアンスに対する意識の徹底、情報漏洩等の業務遂行上のリスク管理の強化や監査の効果的な実施により、適正な教育研究活動及び法人運営を行う。</p> <p><u>役員及び教職員の人権尊重に対する意識向上を図るとともに、ハラスメント行為その他あらゆる人権侵害行為を防止し、発生後の適正な対応を確保するための体制を構築する。</u></p>	<p>(4) コンプライアンスの強化</p> <p>役員及び教職員の法令遵守をはじめとするコンプライアンスに対する意識の徹底、情報漏洩など業務遂行上のリスク管理の強化や監査の効果的な実施により、適正な教育研究活動及び法人運営を行う。</p>
4	<p>・ 6 ページの「自己収入の確保に関する目標」に関し、他の公立大学法人の中期目標を見ると、財源確保のために資金運用を積極的に行うといった記述もあったが、その点についてどのように考えているか。</p>	<p>・ 法人立ち上げ当初は十分な資金運用が行えるような余裕資金が生まれにくいと思われるため、第1期の目標としては記載しない。</p>	
5	<p>・ 2 ページ「1 教育に関する目標」の「ア 共通」に、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの3</p>	<p>・ 3つのポリシーに基づいた教育内容の向上を行うことと、3つのポリシーを必要に応じてブラッシュアップしていくことの両方が重要であるとの考えであり、このことが明確となるよう、以下のとおり修正する。</p>	

	<p>つのポリシーについて「継続的に評価・改善を行い、」とある。ここは3つのポリシーについてのみ評価・改善を行うように読めるが、先ほどの事務局の説明では3つのポリシーに基づいて評価・改善を行うということであった。書き方として「基づいて」という言葉があった方が、ポリシーに沿って実際の教育の中身について評価・改善を行うという読み方ができるのではないかと思うが、案文の意図としてはどうか。</p>	<p><b>【案（今回）】</b>  1 教育に関する目標  (1) 学部・大学院教育の充実  ア 共通  (略)  入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）、教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）及び学位授与の方針（ディプロマポリシー）<u>に基づいて継続的に岐阜薬科大学の取組を評価、改善し、教育の質向上を図るとともに、必要に応じて適時にこれら3つのポリシーの見直しを行うことを通じて、更なる内部質保証の強化を図る。</u></p>	<p><b>【素案（前回）】</b>  1 教育に関する目標  (1) 学部・大学院教育の充実  ア 共通  (略)  入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）、教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）及び学位授与の方針（ディプロマポリシー）について、継続的に評価・改善を行い、教育の質の向上を図る。</p>
6	<p>・2ページ「イ 学部教育」に「高い課題解決能力を持つ自立した人材」とあり、「(2) 教育環境の充実」では「課題発見能力、問題解決能力」と書かれている。問題解決を図るには何が課題かを発見する能力も必要であるため、前者においても課題解決能力だけではなく、問題や課題の発見能力について併記してはどうか。</p>	<p>・課題発見と解決能力をあわせて重視することを記載する。</p> <p><b>【案（今回）】</b>  イ 学部教育  学部教育では、薬学研究の時間を十分確保し、臨床研究力と基礎研究力の向上意欲を持ち、倫理観、広い学術知識と臨床に係る実践的な能力に加え、<u>高い課題発見・解決能力を持つ自立した人材</u>であって、医療関連分野、製薬</p> <p><b>【素案（前回）】</b>  イ 学部教育  学部教育では、薬学研究の時間を十分確保し、臨床研究力と基礎研究力の向上意欲を持ち、倫理観、広い学術知識と臨床に係る実践的な能力に加え、<u>高い課題解決能力を持つ自立した人材</u>であって、医療関連分野、製薬分野、</p>	

		分野、行政分野等の広い分野で活躍できるファーマシスト・サイエンティストとしての基礎的能力を持つ人材を育成する。	行政分野など広い分野で活躍できるファーマシスト・サイエンティストを目指す人材を育成する。
7	・6ページについて、教学マネジメントの確立が求められている中で、教学IRやFD・SDの活動は非常に重要であり、特に、教学IRは質の向上において大変重要になっている。量的な分析は比較的やりやすいが、質的な分析は難しくやり方が重要なので、指標を立てる際、量だけではなく質についてもご検討いただきたい。	・評価指標は中期計画への記載を想定しており、中期計画の認可に係る検討において本意見に留意する。	
8	・地域への貢献とグローバルな活躍の両面が重要だという前回の議論を踏まえて考えると、東京や海外にいて岐阜市と連携する	・地域貢献とグローバルな活躍には場所だけでなくマインドの側面もあることを踏まえ、基本的な目標において、グローバルに活躍できる人材育成と、地域に根ざした人材育成について、以下のとおり記載する。	

	<p>という地域貢献もあれば、岐阜市に根ざして定着しながらグローバルな活躍をすることもあり得ると思われる。理想は、薬大を卒業した学生が岐阜市に根を下ろしながら世界的な科学者として活躍するといったことかと思う。このような観点から、1ページの基本的な目標に「地域に根ざす」という表現が入るとよいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2ページ以降の「地域」という言葉一つ一つを「地域に根ざす」と書くのは適切ではないと思われるので、冒頭の「基本的な目標」にそうした概念を組み込めたらよい。</li> <li>・地域に根ざすという視点について、4ページ「地域社会の医療・保健・福祉への貢献」の「地域における病院等での薬剤師人材確保に貢献する」はまさに典型だが、もう少し広い概念で、地域に根ざしながらグローバルに活躍する人材を作っていくことについて、基本的な目標に入るとよい。</li> </ul>	<p><b>【案（今回）】</b> （基本的な目標）</p> <p>1 教育研究の質の向上に向け不断の取組を行い、創薬や育薬をはじめとする研究を推進するとともに、高度な研究に支えられた薬学教育を通じ、<u>人の健康と福祉に貢献しグローバルに活躍できる有為な薬学専門職業人を育成する。</u></p> <p>2 市立大学として、岐阜市からの支援を受ける大学であり、<u>地域に立脚した大学であるという認識を深めつつ、地域に根ざした人材の育成を行い、</u>地域と連携した教育研究や、教育研究の成果の地域への還元を推進するとともに、岐阜市のライフサイエンス拠点の形成に寄与し、積極的に地域貢献に取り組む。</p> <p>3（略）</p>	<p><b>【素案（前回）】</b> （基本的な目標）</p> <p>1 教育研究の質の向上に向け不断の取組を行い、創薬や育薬をはじめとする研究を推進するとともに、高度な研究に支えられた薬学教育を通じ、人の健康と福祉に貢献できる有為な薬学専門職業人を育成する。</p> <p>2 市立大学として、岐阜市からの支援を受ける大学であり、地域に立脚した大学であるという認識を深め、地域と連携した教育研究や、教育研究の成果の地域への還元を推進するとともに、岐阜市のライフサイエンス拠点の形成に寄与し、積極的に地域貢献に取り組む。</p> <p>3（略）</p>
--	--	--	--

<p>9</p>	<p>・「2 研究に関する目標」に「(1) 新薬開発をはじめとする研究力の向上」とある。  「新薬開発においては」というくだりがあるのでこのままでもよいかもしれないが、薬学研究というのは新薬開発がすべてではないため、新薬開発のみを特筆することに違和感がある。</p> <p>・新薬開発に特化しているという印象を受ける文章について、総合的な領域にフォーカスしていることが読み取れるように工夫していただきたい。</p>	<p>・研究力の向上は総合的に行うものであることを1点目の目標として定め、それに続く2点目の目標として、特に新薬開発の分野で重点を置くべき事項について記載するものである。この旨が明確になるよう、項目名を含め以下のとおり修正する。</p>	
		<p><b>【案（今回）】</b>  2 研究に関する目標  (1) <u>研究力の向上</u></p> <p><u>薬学分野における地域の研究拠点として、URAの体制強化等を通じた研究環境の整備も図りつつ、より健康な社会の実現に貢献する観点から、世界に発信する最先端研究の成果創出を目指し、基礎薬学、臨床薬学を含む薬学の幅広い分野において研究力の向上を図る。</u></p> <p><u>研究分野のうち、特に新薬開発においては、岐阜薬科大学が持つ創薬研究の高い実績を生かし、挑戦的な研究を推進する。</u></p>	<p><b>【素案（前回）】</b>  2 研究に関する目標  (1) 新薬開発をはじめとする研究力の向上</p> <p>世界に発信する最先端研究の成果創出を含め、薬学分野における地域の研究拠点として、URAの体制強化などを通じた研究環境の整備も図りつつ、研究力の向上を図る。</p> <p>岐阜薬科大学が高い実績を持つ新薬開発においては、創薬研究の実績を生かし、より健康な社会の実現に貢献する挑戦的な研究を推進する。</p>